

朗読劇「トルコからの翼」本邦初演 に関するご挨拶

今般、日本とトルコの二国間関係史において非常に重要な意義を有する、「トルコ航空機による テヘラン邦人救出事件」に関し、その立役者である森永堯（もりなが・たかし）氏の事績を紹介・顕彰する朗読劇「トルコからの翼」の日本初演につき、当学会が後援させて頂きましたことを光栄に存じます。

一人の人間の行動力が、歴史を動かすこともあります。森永氏の事績は、正にそれでした。その背景には、熟達した能力・見識・行動力を備えた森永氏という日本のビジネスマンと、自国の経済の発展のために身を粉にして奮闘したオザル首相がいました。そして二人の間には、深い絆と信頼関係がありました。だから、トルコ航空機によるテヘラン邦人救出が実現したのです。野村豊大使の尽力も伝えられておりますが、森永氏とオザル首相の絆は格別のものだったでしょう。

日本では昔から「受けた恩は石に刻む」と言います。森永さん、オザルさんのお名前が忘れられてしまうことは、あってはなりません。今回初演された「トルコからの翼」が、今後、国内外で上演を重ね、森永さん、オザルさんの事績が顕彰されますよう、衷心より祈念いたしております。それは、当学会の永世名誉会長である安倍晋三先生も、まちがいなく、同じお気持ちでいることと存じます。

2023年8月26日

日本安全保障・危機管理学会 理事長 二見 亘